

開講年次・時期	1年後期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	簿記演習	担当者名	三浦 輝行
授業の概要	「簿記論」を修得し、その内容を十分理解していることを前提に、一連の帳簿関連について体系的に学習する。「簿記論」の学習も含め過去問題対策をし、日商簿記3級受験の実力を付ける。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な補助簿の役割と記入方法を修得し、各帳簿の関連を体系的に理解する。</li> <li>・日常の取引の仕訳と各種の試算表作成ができること。</li> <li>・日商簿記検定3級に受験するための基礎知識を身につける。</li> </ul>				
DP(10のあけのほしパワー)の観点	⑥専門知識・技能 ⑨主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「会計サポート」で学んだ基本をもとに、各単元応用編の項目ごとの事前学習を60分程度する。</li> <li>・単元ごとの応用編の課題について実践的な解答に取り組み、検定問題の学習活動を積み重ねる。</li> </ul>				
フィードバックの方法	各単元ごとの小テストの実施により、各自の理解度の確認をする。				
単位認定の要件	授業態度や学習意欲が良好であることと、課題提出や小テスト、期末試験結果を総合して評価する。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、授業内活動20%、授業内提出物20%				
履修上の注意事項	遅刻・早退・欠席については授業内活動として評価する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション(ステップⅡ 動画活用の学習方法について)	①聴く力	レポート提出
2			オリエンテーション(ステップⅡ テキスト活用の学習方法について)	①聴く力	レポート提出
3			現金預金	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
4			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
5			商品売買	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
6			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
7			債権債務	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
8			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
9			手形	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
10			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
11			有価証券と固定資産	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
12			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
13			資本金と税金	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
14			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
15			決算	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
16			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
17			伝票式会計	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
18			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
19			帳簿組織	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
20			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
21			応用論点 その1訂正仕訳	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
22			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
23			応用論点 その2再振替仕訳	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
24			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
25			総合問題演習 第1問対策	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
26			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
27			総合問題演習 第2・4問対策	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
28			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
29			総合問題演習 第5問対策	⑥専門知識・技能	小テスト実施での確認
30			課題演習と解説	⑧実践力	小テスト実施での確認
期末試験			期末試験実施		

使用テキスト	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級』テキスト
参考文献 参考URL	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級講座』解説
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--